



絵本とアートでSDGs

2021年2月号

「あっ！これってSDGsだ！」 「ねえ、これって防災につながるね！」 そう！身の回りにはSDGsや防災・減災につながるものがたくさんあります。むずかしく考えずに、絵本とアートで日々の生活に取り入れてみませんか？

11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



暮らし×SDGs

使うつもりで買ってきたのに、なぜか忘れてしまいダメになってしまう。こんな経験はありませんか？少しの注意で家庭からの食品ロスは減らせます。

食品ロスとは外食での食べ残しだけではなく、食材を無駄にしてしまうことでもあります。

まずは求めた食材はちゃんと使い、美味しく食べることから始めてみましょう。そして保存方法等を工夫して管理できるといいですね。



朝日 仁美

絵本でSDGs推進協会代表理事
学校司書 絵本専門家

SDGsforSchool認定エデュケーター

2月のおすすめ絵



ぞろりぞろりとやさいがね

作：ひろかわ さえこ
出版社：偕成社

月夜に家からぞろりぞろりと出てきた野菜たち。彼らは冷蔵庫の中などで存在を忘れられた野菜だったのです。

この晩は、様々な家から食べ損ねられた野菜たちが集会を開催。美味しく食べてくれなかった人間への恨みつらみは募るばかり。ついには復讐を企むのでした！

さあ～ 野菜たちの怒りは鎮まるのか？人間はやられてしまうのか？

11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



防災×アート



何よりも大切な事は日ごろの備えです。この機会に自分達で『非常用持ち出し袋』を

制作してみませんか？

上の写真は、廃棄野菜の端材を使って、無地の袋にスタンプして模様をつけています。

防災アート制作だけでなく、食品ロスについても考えるきっかけになりますね。



石橋 幸子

NPO法人アトリエPetata理事長
保育士 防災士 絵本専門家

2月のおすすめ絵本



はなちゃんの はやあるき はやあるき

作：宇部 京子
絵：菅野 博子
出版社：岩崎書店

東日本大震災。様々なメディアで報道される信じがたい光景に誰もが愕然としました。

そうした中、園児も職員も全員津波を逃れ「奇跡の脱出」と伝えられた岩手県野田村保育所。その背景には、毎月の地道な避難訓練があったそうです。

絵本を読んだ後に、自分で自分の命を守る『日頃の備え』について、改めて考えてみて下さい。